

第2回緊急北東学連総会 詳細

日時：12月26日 13:20~15:20

場所：各拠点

議長・書記：林俊充

※本総会は告知からの開催が早い為、Zoomによるインターネット会議方式を取る。

※その場で採決をとり北東学連全体の決定とする。

[議題]

北東ミドルセレ選手推薦規約 基準制定

[背景]

この規約案自体は2017年度第2回総会で取り上げられたものである。本来セレクション通過選手の推薦は、セレに直接関係のない院生が行うこととなっている。しかし北東学連の場合は院生のほとんどを東北大学が占めるため、選考に偏りが出るという懸念がある。また明確な基準を設けることが出来ず、話がそのまま流れてしまった。

[昨年度の総会より]

- ・院生による選手推薦をするべきだが、最終的に選考員の匙加減で決まる現状の推薦方法では加盟員が納得できない。
- ・明確な基準が無いと選考の決定に時間がかかる。
- ・地区学連枠の1/10の数を推薦枠とするが、そもそもの地区学連枠数が1枠の場合に推薦を実施するか否か決めていない。

[参加者]

各大学1名以上が出席

欠席：岩手大学

[案]

大学名	案
北海道大	<ul style="list-style-type: none"> ・評価対象は前年のインカレミドル、今年度のインカレロングとする ・各大学少人数の選考委員を出す →少人数だから時間がかからない、OBOGによる選考の偏りが無い <ul style="list-style-type: none"> ・学連の枠が一つの場合、推薦は行わない
岩手県立大	<ul style="list-style-type: none"> ・各加盟校より選考委員を一名ずつ排出 ・それに加え全大学の院生の中から一名選び、選考に加わる
東北大	<ul style="list-style-type: none"> ・方法①各大学少人数の選考委員を出す（部長等の権限持ちに限る） ・方法②選考委員制を廃止し、ポイント制を導入する →前年度インカレミドル、今年度インカレロングが対象レース <ul style="list-style-type: none"> ・学連枠が少ないときでも推薦は行う →1 枠だった場合も、ミドルセレ1位と立候補者の中で選考する
宮城学院女子大	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学少人数の選考委員を出す ・立候補に順位が一桁である等の制限をかける ・基準がある程度厳しいものであれば院生の影響は少ない
福島大	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学少人数の選考委員を出す ・学連枠 1 →推薦やらない

各加盟校より提示された「選考委員の選出による委員会の設立案」と、東北大学より提示された「ポイント制による厳格な基準づくり案」の二つを検討することとなった。

[選考委員選出基準案]

- ・各大学から一名排出することは確定した。
- ・排出するのは部員からか OBOG からか。

北海道大	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に OBOG が選ばれる →それが不可能なら部長などの権限を持った加盟員が選ばれる
岩手県立大	<ul style="list-style-type: none"> ・各加盟校から 1 名という条件さえ守れば特に制限しない
東北大	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に OBOG が選ばれる →過去に役職についていたものの中から選ぶという制限は設ける
宮城学院女子大	<ul style="list-style-type: none"> ・院生がいないケースが主である →代わりに部長が選ばれる
福島大	<ul style="list-style-type: none"> ・現役か OBOG かは問題ではなく、推薦について考慮できる、事情をよく知る加盟員を優先的に選択すべき

議論の結果決定した選考委員の選出基準を次項に示す。

選考委員選出基準（数字は選考の優先度を表す）

- ① 普段からオリエンテーリング活動に従事し、推薦規約を理解している
- ② 過去に部長などの役職に就いた経験を持ち、インカレ出場権を持たない
- ③ 現役で部長を務めている

[選考の流れ]

- ① 選考委員決定 → ② 会議を開く → ③ 立候補者が所定の基準を満たしているか確認
→ ④ 投票 → ⑤ 同数の場合は幹事長判断

幹事長判断は公平性を欠くのではないかと → それ以上公平に判断できる役職がないので現行の制度で構わない。

選考委員の選出による委員会の設立案

選考委員 選出方法	各大学から選考委員を1名選出する。それに幹事長1名を加えた計7名で会議する。選考委員選出の基準を以下に示す。 ① 普段からオリエンテーリング活動に従事し、推薦規約を理解している ② 過去に部長などの役職に就いた経験を持ち、インカレ出場権を持たない ③ 現役で部長を務めている 選出された委員の意思は各加盟校に所属する加盟員全員の総意と扱う。
選考方法	① 以上の方法で選出された選考委員と北東学連幹事長、推薦に立候補した加盟員らで総会を開く ② まず立候補者から推薦理由を聞く機会を設ける ③ 選考委員は②と事前に提出された届出から、立候補者が推薦規約の条件を満たしているか確認する ④ ②～③で決定しない場合は多数決を取る ⑤ ④にて票数が同数であった場合、幹事長の判断に委ねられる ⑥ 推薦立候補者全員が基準を満たしていないと判断された場合、北東ミドルセレで選手権に通過しなかった選手のうち一番成績の良い選手が選ばれる ⑦ 推薦する選手が決定し次第、北東学連 HP にて告知する

[ポイント制による厳格な基準づくり案]

・ 前年度インカレミドル（選手権の部）、インカレロング（選手権の部）などの規模が大きく競技が成立している大会の成績で判断する。

・ 計算式例（男子）

$$\rightarrow (21 - \text{順位}) + (21 - \text{順位}) \times 0.8 = \text{合計}$$

→合計だと片方の大会に出場できていないなどのケースに対応できない、一年目不利

・計算式例2

→前年度インカレミドル順位*0.5 今年度インカレロング*0.8 セレ結果*1

・ミドルセレ未出走者同士で比較する…過去実績を参照する。

・ミドルセレに出走した人と未出走者とで比較する…セレ結果を参照しなければならない。

→走ったレースが違うため、比較が困難である

→セレ未出走者2名以上の場合、過去の大会成績をポイント化しその合計値で競う

→セレ走った人との未出走者の場合

北海道大	ミドルセレの結果を無視する
岩手県立大	ミドルセレの結果を考慮する
東北大	未出走者のミドルセレ結果を仮定する方法があればそれを見る
宮城学院女子大	ミドルセレの結果を無視する
福島大	ミドルセレの結果を無視する

審議の結果、今年度中にポイント制を確立させることは困難であった。当分は「選考委員の選出による委員会の設立案」を採用し、並行してポイント制による公平な推薦規約作りを行う。加盟員全員が納得する規約を目指す。

以下ポイント制採用に向けての段階

- ①ポイント制を採用している他学連があるか調査し、あれば話を伺う。
- ②ランキング予想などを行っている有識者に方法を伺う。
- ③ポイント制に必要な情報を確定し、その取得方法をはっきりさせる。
- ④北東学連総会の場で議論し規約を制定する。
- ⑤日学総会の場で承認を受ける。

④までを来年度冬の日本学連幹事会までに実施する。